**ハンドマイク街頭演説原稿例　河井買収事件・コロナ・都知事選**

二〇二〇年六月三〇日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日は、この場所をお借りして、日本共産党の政策をお話しさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

　みなさん、公職選挙法違反の疑いで河井克行前法相と妻の案里議員が逮捕された事件で、１億５千万円もの自民党の資金提供と選挙買収容疑の関連が国政の一大焦点となっています。河井容疑者は安倍首相の側近として有名であり、案里容疑者の選挙への安倍首相の露骨な肩入れなどもあきらかになっています。３０日付の赤旗一面によると、広島県北広島町の宮本裕之町議会議長が、河井容疑者から妻の案里容疑者と安倍晋三首相が一緒に写った新聞記事を示したうえで現金２０万を渡されたと証言しています。安倍首相と自民党の政治責任がいよいよ強く問われています。安倍首相は、自民党総裁としてただちに国会で真相を説明すべきです。日本共産党は、これまでも安倍政権による国政の私物化を徹底的に追及してきました。この河井買収事件についても、日本共産党は、他の野党と立ち上げた実態解明チームのなかで、真相究明に力を尽くします。

　みなさん、緊急事態宣伝の解除をうけ、経済活動が再開されました。週末など歓楽街の人出が大幅に増え、クラスタ―もふたたび発生しています。東京都では、連日、５０人を以上の新しい感染者が判明し、埼玉県内でも感染者が１０人を超えています。ただちに感染経路を調査し、感染拡大を阻止するとともに、感染拡大の「第２波」「第３波」にそなえた検査体制の抜本的強化が必要です。日本共産党は、クラスターの発生しやすい医療・福祉・介護施設では、公費ですべての職員が検査できるよう国に強く求めていきます。

　みなさん、今回のコロナ危機で、医療体公衆衛生の脆弱（ぜひじゃく）さが明らかになりました。埼玉でも、この間、保健所が大幅に減らされ、職員も削減されてきました。深刻な医師不足の克服も大きな課題です。民営化につながりかねない、県立４病院の独立行政法人化も大問題です。日本共産党は、経済効率を最優先に、「自己責任」を押し付けたきた新自由主義の政策を転換します。県民みんなが支え合い、医療・福祉の充実で一人ひとりの人権と尊厳が守られる社会を実現していきます。

　みなさん、５日投開票の東京都知事選挙もいよいよ終盤を迎えます。日本共産党は、幅広い都民や野党のみなさんと力をあわせ、弁護士の宇都宮けんじ都知事候補を全力で応援してきました。宇都宮けんじ都知事候補は、「正直・公正」を政治姿勢にかかげ、あらゆる貧困をなくし、１４００万都民を守る都政への転換を訴えています。保健所の増設や２０人程度の少人数学級の実現など、都民の願いにこたえる宇都宮都政が誕生すれば、国政や埼玉県政にも大きな影響を及ぼします。都内在住のご家族や職場の同僚に、宇都宮候補への支援をぜひお願いしていただきますよう、心から訴えます。

　最後に、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）